



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場会社名 株式会社 積水工機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6487 URL http://www.sekisuikouki.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)海田 拓洋
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理部長 (氏名)浜田 洋介 (TEL)072(858)1121
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,186	13.1	126	62.1	119	69.7	104	72.2
26年3月期第2四半期	2,817	△0.9	78	119.8	70	108.6	60	112.5

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 114百万円(83.4%) 26年3月期第2四半期 62百万円(144.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	11.27	—
26年3月期第2四半期	6.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	6,218	2,491	40.1
26年3月期	5,846	2,377	40.7

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,491百万円 26年3月期 2,377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	未定	未定

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	8.7	200	115.3	190	134.9	160	121.1	17.25

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	9,350,000株	26年3月期	9,350,000株
27年3月期2Q	75,976株	26年3月期	75,876株
27年3月期2Q	9,274,053株	26年3月期2Q	9,274,770株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 受注の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の金型部門の状況につきましては、主要顧客である自動車メーカー各社の生産台数は海外拠点を中心に増加し、新車開発需要は新興国市場向けを中心に堅調に推移しました。加えて、昨年来の円安の進行などにより、顧客の部品調達国内回帰の動きも見られ、金型市場は活発な引合いが続きました。このような状況の中、当社は顧客別ニーズにそった価値提案営業を推進し、競合他社との差別化を進めてまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の受注は、前年同期を上回る実績となりました。金型部門の当第2四半期連結累計期間の売上高は2,268百万円（前年同期比15.9%増）となり、営業利益は67百万円（前年同期は4百万円の黒字）となりました。

産業機器部門の状況につきましては、主要顧客からの高機能押出機関連設備の引合いは、徐々に増加傾向にあるものの、依然として厳しい受注競争が続きました。このような状況の中、主要顧客への訪問強化や押出セミナーなどの技術交流会を開催し、顧客との関係強化に努めてまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の受注は、前年同期を上回る実績となりました。産業機器部門の当第2四半期連結累計期間の売上高は918百万円（前年同期比6.7%増）となり、営業利益は新製品開発関連費の増加などにより、49百万円（前年同期比22.7%減）となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は3,186百万円（前年同期比13.1%増）、営業利益は126百万円（前年同期比62.1%増）、経常利益は119百万円（前年同期比69.7%増）、四半期純利益は104百万円（前年同期比72.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ371百万円増加し、6,218百万円となりました。主な内訳は資産側においては、流動資産が350百万円増加し、固定資産は21百万円増加しました。流動資産は売上債権が134百万円増加し、仕掛品は101百万円増加しました。固定資産の増加は設備投資による増加が減価償却費を上回ったものです。負債側においては、流動負債が284百万円増加し、固定負債は27百万円減少しました。流動負債は仕入債務が213百万円増加し、短期借入金が増加したこと等によるものです。固定負債の減少は長期リース債務の減少等によるものです。純資産は四半期純利益104百万円の計上等により前連結会計年度末に比べ114百万円増加し、2,491百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で獲得した資金は218百万円となりました。主な増加の内訳は税金等調整前四半期純利益119百万円と減価償却費98百万円、仕入債務の増加213百万円等によるものであり、主な減少の内訳は、売上債権の増加134百万円等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は98百万円となりました。有形固定資産の取得による支出97百万円が主なものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は3百万円となりました。主な内訳は長期借入金が増加しましたが、返済が93百万円あったことなどによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ116百万円増加し、965百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、当社グループに関連する金型市場は、国内主要自動車メーカー各社の新車開発計画に伴う引合いが、引き続き堅調に推移するものと思われます。一方、産業機器市場では、高機能フィルム・シート押出機関連の設備投資需要は、徐々にではあるものの増加傾向が続くと予測されます。

このような状況の中で、金型部門におきましては、インパネ金型のバリュープロポジション（価値提案）を軸に、グローバルマーケットでの受注拡大や、グローバルパートナーとの新たな付加価値創造、バルブゲートシステムのラインアップ強化と規格認知拡大を推進してまいります。また、生産面では設計能力の強化、変動原価、ロスコストの削減等による生産性の向上、収益改善に取り組んでまいります。

産業機器部門におきましては、主要顧客との交流強化による安定受注基盤を確立するとともに、主要製品の競争力アップ、設計及び組立品質の向上と納期管理の徹底に取り組んでまいります。また、超臨界流体利用技術の実用化に向けた共同開発契約の締結、新可視化解析押出機の上市やスマートエクストルーダーの開発など成長市場に向けた新製品開発と技術力強化を推進してまいります。

当期の通期連結業績予想については、売上高6,300百万円、営業利益200百万円、経常利益190百万円、当期利益160百万円を見込んでいます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、デュレーション法による単一割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	849,315	965,906
受取手形及び売掛金	2,153,250	2,287,481
仕掛品	402,701	504,143
原材料及び貯蔵品	29,518	25,884
繰延税金資産	58,235	60,479
その他	43,308	42,568
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	3,534,329	3,884,463
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	479,216	493,551
機械装置及び運搬具(純額)	562,756	592,304
土地	1,112,910	1,112,910
建設仮勘定	36,272	12,708
その他(純額)	10,836	18,775
有形固定資産合計	2,201,992	2,230,249
無形固定資産		
ソフトウェア	46,962	37,513
その他	4,498	4,450
無形固定資産合計	51,461	41,964
投資その他の資産		
繰延税金資産	65	65
その他	58,502	61,444
投資その他の資産合計	58,567	61,509
固定資産合計	2,312,021	2,333,723
資産合計	5,846,351	6,218,187

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,527,903	1,741,196
短期借入金	886,660	906,660
未払法人税等	33,372	24,590
賞与引当金	61,800	95,700
工事損失引当金	1,390	-
設備関係支払手形	11,665	17,693
設備関係未払金	39,607	53,879
その他	222,719	230,076
流動負債合計	2,785,118	3,069,796
固定負債		
長期借入金	510,010	496,680
長期未払金	44,210	44,210
リース債務	83,271	72,077
繰延税金負債	1,413	2,232
退職給付に係る負債	44,907	41,250
固定負債合計	683,812	656,450
負債合計	3,468,931	3,726,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,613,000	700,000
資本剰余金	831,151	1,399,332
利益剰余金	29,305	478,624
自己株式	△17,625	△17,641
株主資本合計	2,455,830	2,560,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,147	3,470
退職給付に係る調整累計額	△80,557	△71,846
その他の包括利益累計額合計	△78,410	△68,376
純資産合計	2,377,419	2,491,939
負債純資産合計	5,846,351	6,218,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,817,466	3,186,394
売上原価	2,442,175	2,738,697
売上総利益	375,291	447,696
販売費及び一般管理費	297,272	321,261
営業利益	78,018	126,434
営業外収益		
受取利息	222	216
受取配当金	209	78
仕入割引	1,206	1,273
その他	8	199
営業外収益合計	1,646	1,767
営業外費用		
支払利息	8,901	8,302
売上割引	13	13
その他	189	158
営業外費用合計	9,105	8,475
経常利益	70,560	119,726
特別利益		
固定資産売却益	765	-
特別利益合計	765	-
特別損失		
固定資産除売却損	-	264
特別損失合計	-	264
税金等調整前四半期純利益	71,325	119,461
法人税、住民税及び事業税	15,989	19,931
法人税等調整額	△5,355	△4,971
法人税等合計	10,634	14,960
少数株主損益調整前四半期純利益	60,691	104,501
四半期純利益	60,691	104,501

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	60,691	104,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,761	1,323
退職給付に係る調整額	-	8,711
その他の包括利益合計	1,761	10,034
四半期包括利益	62,452	114,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,452	114,535

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	71,325	119,461
減価償却費	88,628	98,875
受取利息及び受取配当金	△432	△294
支払利息	8,901	8,302
固定資産除売却損益(△は益)	△765	152
売上債権の増減額(△は増加)	478,483	△134,230
前受金の増減額(△は減少)	△105,363	45
たな卸資産の増減額(△は増加)	74,512	△97,807
仕入債務の増減額(△は減少)	△430,462	213,292
未払消費税等の増減額(△は減少)	△38,769	8,104
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,200	33,900
退職給付引当金の増減額(△は減少)	154	-
その他	15,423	△5,699
小計	158,436	244,103
利息及び配当金の受取額	432	343
利息の支払額	△7,622	△8,057
法人税等の支払額	△8,410	△17,818
営業活動によるキャッシュ・フロー	142,834	218,571
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△148,397	△97,409
有形固定資産の売却による収入	2,000	-
その他	17,647	△905
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128,750	△98,314
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△800,259	-
長期借入れによる収入	800,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△80,000	△93,330
リース債務の返済による支出	△10,037	△10,320
自己株式の純増減額(△は増加)	△111	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△90,408	△3,665
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△76,324	116,591
現金及び現金同等物の期首残高	1,221,038	849,315
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,144,714	965,906

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年7月28日付で、資本金を913,000千円減少し、その他資本剰余金に振替えた後、同日付でその他資本剰余金を344,818千円減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が700,000千円、資本剰余金が1,399,332千円となっております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 ※1	合計 ※2
	金型	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,956,912	860,553	2,817,466	—	2,817,466
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,956,912	860,553	2,817,466	—	2,817,466
セグメント利益	4,710	63,708	68,418	9,600	78,018

(注) ※1 セグメント利益の調整額9,600千円は、セグメント間取引消去であります。

※2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 ※1	合計 ※2
	金型	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,268,149	918,244	3,186,394	—	3,186,394
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,268,149	918,244	3,186,394	—	3,186,394
セグメント利益	67,562	49,271	116,834	9,600	126,434

(注) ※1 セグメント利益の調整額9,600千円は、セグメント間取引消去であります。

※2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

当該変更による、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響はありません。

4. 補足情報

(1) 受注の状況

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
金型	2,097,230	10.3	1,106,930	△0.3
産業機器	998,849	15.1	1,067,385	△10.0
合計	3,096,079	11.8	2,174,315	△5.3

(注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。